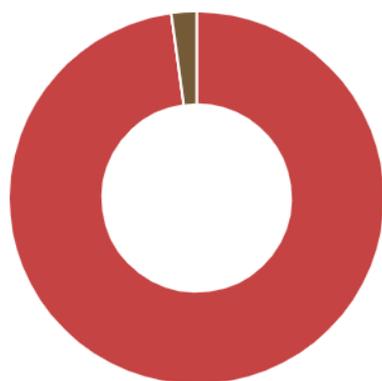


保護者・教員対象「防災意識アンケート」

設問 1 自然災害への備えは必要だと思いますか？

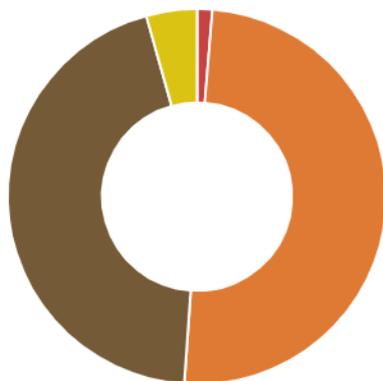
回答数 232



- 選択肢 1 227人(97.84%) ①必要
- 選択肢 2 0人(0%) ②必要ない
- 選択肢 3 5人(2.16%) ③分からない

設問 2 自然災害の備えができていますか？

回答数 231



- 選択肢 1 3人(1.3%) ①十分できている
- 選択肢 2 115人(49.78%) ②どちらかといえ
ば出来ている
- 選択肢 3 103人(44.59%) ③どちらかといえ
ば出来ていない
- 選択肢 4 10人(4.33%) ④全く出来ていない

設問 3 設問2.で①②を選択した人はどのような備えをしていますか？

- ◇ 非常食や救急薬品などを準備している
- ◇ バッテリー
- ◇ ガスボンベ

- ◇ 水、食料品など
- ◇ 水、レトルトなどの食品
- ◇ カセットコンロ、ソーラーライト
- ◇ 避難バッグの確保
- ◇ 各自避難先の確認
- ◇ 避難袋の準備、最終避難場所の確認
- ◇ 食品の備蓄
- ◇ 備蓄食糧
- ◇ 防災バッグ(懐中電灯、ランタン、乾電池、ラジオ、軍手等)を玄関に常備
- ◇ 保存食、水の備蓄(ローテーション)
- ◇ 家族内での避難場所の共有
- ◇ 避難場所
- ◇ 避難セットを車等に用意しておき、時々使用している。保存食等を上手く使いながらストックしている。
- ◇ 水や非常食などをある程度備蓄している。川や崖が近くにないので、避難所に行くことはないと思うから家での避難生活を考えて備蓄している。
- ◇ 日用品やカップラーメン等の食料品をストックしている。
- ◇ 避難先を家族で共有している。
- ◇ 備蓄品をおく
- ◇ 水 食料
- ◇ 非常持ち出し袋
- ◇ 賞味期限長持ちの水や食糧
- ◇ 薬 など
- ◇ 水、食料、ろうそく、懐中電灯、ランタン、カセットコンロなど。電池など時々確認している。
- ◇ 備蓄品の準備と避難所の確認
- ◇ 水や食糧の備蓄品は用意してあるが、期限切れの物もあるから。
- ◇ 食糧の備蓄
- ◇ ライフラインが停止した場合に代用品で対応できるように準備している
- ◇ 水、食料の確保
- ◇ 衛生用品の備蓄
- ◇ 避難経路の確認
- ◇ 避難場所の確認
- ◇ 携帯の予備を持ち歩く
 - ・ 防災リュック
 - ・ 避難経路の確認
- ◇ 災害になった場合の避難場所の確認をしている。

- ◇ 防災用品の準備ができています。
- ◇ ガソリンは1メモリ以下にしない。
- ◇ 食料品、電池など
- ◇ いつでも避難できる準備をしている。
- ◇ 人数分の食料や水・生活用品をストックしている
- ◇ 食料、水、電池、懐中電灯など
- ◇ 食料品の備蓄 簡易トイレの準備など
- ◇ 懐中電灯、ろうそく等。
- ◇ 飲料水
- ◇ 保存食、防寒グッズ、簡易トイレ、医療品など
- ◇ 食料品の備蓄
- ◇ 水、乾パンなどの非常食を幾つか用意している
- ◇ 水・日用品・カセットコンロ等
- ◇ 簡易トイレの確保
- ◇ 非常食の確保
- ◇ 水と水を入れるポリ
- ◇ ラジオやライト
- ◇ 水、トイレペーパー、食料、電池、電気、カセットコンロ
- ◇ 食品や水のストックをなるべく多めにしている。
- ◇ 防災グッズが入ったカバンを、玄関近くに置いている
- ◇ ポータブル電源等の準備
- ◇ 食料や水、乾電池など
- ◇ 備蓄
- ◇ 避難方法の確認
- ◇ 保存食や飲料水等を常に備え、使ったら補充するローリングストックを実行している。
- ◇ ライフライン・通信網等の断絶、約一か月間の行動計画を想定。
 - ・ 家族間で避難所や避難経路の確認
 - ・ 非常食、避難道具等の準備
- ◇ 非常食と水、携帯用トイレを準備している
- ◇ 緊急時 家族間の約束事
- ◇ 食料水のストック
- ◇ 非常食の準備 飲み物 灯油 ろうそく
- ◇ 食料や飲料水。
- ◇ 医薬品など、備蓄しています。
- ◇ 食料・生活用品の備蓄
- ◇ 避難路・場所の確認

- ◇ 防災リュック(避難グッズや非常食が入ったもの)を玄関付近に置いている。
- ◇ 防災避難持ち出しバック
- ◇ 内容は、マスク、ライト、軍手、非常食、水、等
- ◇ 家具の転倒防止、防災グッズ(水など)準備している
- ◇ 水、食料の備蓄等
 - ・ 防災リュックを用意している
 - ・ 家族の最終的な避難場所の共有
 - ・ 自宅に全員いる時の避難経路の共有
- ◇ 水
- ◇ 非常食
- ◇ 懐中電灯など
- ◇ 食料、服などをすぐ持ち出せるように準備している。
 - ・ 所々に電灯を常備している
 - ・ 食品は米みそ醤油梅干し程度は常に意識したい
 - ・ 反射板ストーブ、灯油
- ◇ 飲料水、長期の保存食、衛生用品、乾電池、灯油など暖がとれるもの
- ◇ ガソリン、簡易トイレ、薬など、
- ◇ 非常用持ち出し袋
- ◇ 備蓄食材
- ◇ 非常時の連絡先等の確認
- ◇ しっかりとした備えではないと思いますが、食料品やペーパー類など最低限の物を用意しています。
- ◇ 非常用バッテリーもあります。
- ◇ 食料品の備蓄と避難経路の確認。
- ◇ 備蓄等
- ◇ 自家発電機、ソーラーライト複数、ラジオ、カセットコンロ等を常備。
- ◇ 避難場所を家族で決めている。
- ◇ まだ不備だと思うのは食品関係
- ◇ 自宅脇に土手があり水はけが悪いので
- ◇ 地中にパイプを埋めて雨水など通るよう崩れにくくしています。
- ◇ 自宅に防災持ち出し備品・飲料水・非常食など準備している。
- ◇ 家族と避難所の確認をしている。
- ◇ 水、食料の備蓄
- ◇ 非常持ち出し袋、水、食料、ペーパー類、ガスや発電機など
- ◇ 避難袋及び保存食を用意している。

- ◇ 3日分の食糧や水の備蓄。容量の大きい充電バッテリーの準備。電池、懐中電灯などの準備。常備薬の準備。石油ストーブ。
- ◇ 常に飲料水と
- ◇ 水や食料品、電池など、もしもの時にあったら助かる日用品を適度に置いておく
- ◇ 車のガソリンをEタンにしない
- ◇ 最低限の食事、着替などリュックにまとめている。
- ◇ 保存食品や乾電池買い置き、風呂水を入浴後すぐに捨てない。
- ◇ 家の中各所に懐中電灯など。
- ◇ アルファ化米、飲料水、救急箱、電池、カセットコンロ+カセットボンベ、他
- ◇ 持ち出しバッグ
- ◇ 非常食
- ◇ 避難場所の確認
- ◇ 発電機の点検、水の貯え、石油ストーブや灯油、薪ストーブと薪の貯蓄など
- ◇ 雨水をためる入れ物や常時ペットボトルに水をストックする。車の中にトイレトペーパーやタオル、軍手、新聞紙、懐中電灯等入れてある。
- ◇ 非常時の持出し品や食料 水分の備蓄など。
- ◇ 非常食や水などの買い置きをして、ローテーションで使っている
- ◇ 水、保存食の備蓄。
- ◇ 懐中電灯、保温シート、水入れのポリタンク、発電機 など。
- ◇ ライトや電池、食料など
- ◇ 食料、生活用品の備蓄
- ◇ 避難する場所の確認
- ◇ 備蓄食料等
- ◇ 食料と水を備蓄している。
- ◇ 家族で避難場所を決めている。
- ◇ 水や食料品を備蓄しています。
- ◇ 水や食料品の備え
- ◇ キャンプ用品 食料 薬 水 ラジオ 電池
- ◇ 選択していない
- ◇ 水、缶詰、ラジオ、ラップ、懐中電灯、ビニール袋、軍手、ライター、カセットコンロ
- ◇ 飲料や日用品の備蓄を常に多めに行っている
- ◇ ガスコンロ準備
- ◇ 車のガソリンを半分より切らさない
- ◇ 水など多めに買っておく
- ◇ 防災グッズの準備
- ◇ 非常食、持出品の準備

- ◇ 水やカセットコンロなど持ち運び出しやすいように準備している
- ◇ 避難方法
- ◇ 事前に避難場所を決めておく等。
- ◇ 非常食 衛生用品 懐中電灯 乾電池
- ◇ ミネラルウォーター2L を 10 本 水用の折りたたみポリタンク 保温シート人数分 歯ブラシと液体歯磨き ティッシュペーパー ラップ 紙皿 羊羹 缶入り飴 マスク アルコール
- ◇ 食料の備蓄
- ◇ 避難場所の確認と、家族間の連絡方法の取り決め
- ◇ 保存食と水を定期的に備蓄している。
- ◇ 日常的に使用する消耗品を災害時に
- ◇ スtockしている。
- ◇ 災害用の食料の備蓄
- ◇ 保存食の保管
- ◇ 災害保険の加入、水や防災グッズ、ブルーシート、土嚢
- ◇ 避難経路が確定している
- ◇ 食料はなんとなくストック出来ていると思う。水のストックは足りないはず。煮炊き用には薪でどうにかなるかなと思っている。電気はちょっと心細い。あとは避難の仕方などもっと家族と話し合ったほうが良いかなと思う。
- ◇ 自宅の何部屋かと各車内に非常食や防災グッズを常備している。
- ◇ リュックに飲料水、食料、着替え、懐中電灯、ラジオ、カイロ、カップ等を入れている
- ◇ 保存食、飲料水の備蓄
- ◇ 手動充電式ラジオなどの準備
- ◇ なし
- ◇ 簡易トイレの確保
- ◇ 非常食の確保
- ◇ 水と水を入れるポリ
- ◇ 町内会でハザードマップを作成。避難場所やルートを確認している。
- ◇ 避難所の確認
- ◇ 飲料水と日持ちする食品や電池を備蓄。
- ◇ 日持ちする食品のストックは多めにしておく。
- ◇ 非常食、水、防災グッズ、等すぐ持ち出せるようにしている。
- ◇ 食糧品の備蓄
- ◇ 非常用持ち出し袋の準備
- ◇ 避難場所の確認

設問 4 設問2.で③④を選択した人はなぜ備えていないのですか？

- ◇ いざ その時に 持ち出せないから。
- ◇ ローリングストックと、思いつつ出来ていない。
- ◇ なかなか生活の中で余裕がない
- ◇ 準備する暇がないからです
- ◇ 暇がないから
- ◇ 備えてはいるが、じゅうぶんとは言えないと思う。
- ◇ これまで災害に遭ったことがないため
- ◇ ある程度は備えているが、実際どれくらいの備えが必要かわからない。食品などを備えたが期限切れで無駄にしてしまったことがあった。
- ◇ やらなければならないと思っているが、危ないと感じたときに準備してしまう。
- ◇ 何とかかなると思っている。震災の時もあんなに行政や遠くの知人から色々な支援があるとは思わなかった。
- ◇ ついつい後回しになってしまっている
- ◇ リストがあるとヤル気
- ◇ ついつい …。
- ◇ 水の備えは充分ですが、食料は足りていないかもしれません。
- ◇ 後回しにしてしまっている。
- ◇ やらなければと、思っているが。
- ◇ どの程度、どうやって準備しておいたら良いか悩んでいる(食べ物、日用品、置き場所等)。
- ◇ 保存食の買い置きはあるが、食品をのぞいて電池や緊急時に必要なものの備えがつつい後回しになってしまっている。
- ◇ 備えた時から日が経ち賞味期間が切れてしまっていたりするものがほとんど。
- ◇ 車のガソリンだけは余裕をもって満タンに給油しておくようにはしている
- ◇ 唯一備えているとすれば
- ◇ 逃げ道を常に考えること
- ◇ 車で走行しているとき、今大地震が来たらどの方向に進路を変えるべきかを考える
- ◇ なんとなく
- ◇ 水は準備しているが、その他に必要なものの把握が出来ていない。
- ◇ 後回しにしている。
- ◇ 家が比較的安全な地域にあると高を括っている。家族全員分の食品の備蓄のタイミングは掴めていないままズルズルと今に至る。
- ◇ 備蓄という概念ではなく常に作り過ぎてしまった食品などは冷凍保存しているのでそれでしばらくは凌げるかなあと思っている。
- ◇ 1度備えていたが、期限切れの補充をしてない状態。
- ◇ なんとかかなるかなと考えている為。

- ◇ 食料品等家族全員分の備えとなるとかなりの量となり、ストックできる量が限られてしまう。
- ◇ ついつい、忘れてしまっている。
- ◇ 賞味期限の管理が大変
- ◇ 備えていた非常食などの賞味期限が過ぎている。買換えないと思うままになっている
- ◇ 中々時間がないから
- ◇ 飲料水や食料品等の消費期限を切らしてしまう。
- ◇ しなければいけないな、と思いながらも、行動におこせないでいる現状。
- ◇ 揃える時間がない。無駄に揃えても仕方がないので、本当に必要か考える時間もない。
- ◇ すぐに持ち出せる体制にはなっていないので、あらためたいとおもいます
- ◇ 今までは、備えておりましたが、東日本大震災の際に、自宅、実家が全壊、流出。車にもある程度、備えてはありました。キャンプ用品等々…でも、車場荒らしに合い、何も残らず…なので、現在山の方へ住んで居りますが、いまいち？備えた方がいいのか？どうか？悩み中です。
- ◇ 何を、どのくらいの量、など、よくわからないため
- ◇ 日々の忙しさにかまけてついつい後回しになっている。
- ◇ 海や川から遠い
- ◇ 以前は備えていたが、使用期限などが切れてしまったのをそのままにしておいてある。。
- ◇ 問題意識はあり、全く備えていないわけではない。具体的な避難の想定まではしているが、準備物等その他について、まだ十分とは思えないから「出来ていない」と回答した。
- ◇ 備えのために購入していたが使ってしまった、ローリングストックになっていない。
- ◇ 危機感を感じていない
- ◇ 水は準備しているが、食べ物はできていない
- ◇ 忙しいくて
- ◇ 必要とはわかっている、なかなか機会がなく。
- ◇ ローリングストックはしている。
- ◇ 震災後はそれなりに食品、水、薬、衣類など多少の備蓄をしていましたが賞味期限が切れてしまい最初はこまめにチェックしたり買い替えしていたのですが年数が経ち大きな災害もなか
- ◇ 備え用とは思っててもなかなか実行にうつせません
- ◇ 対策の仕方が分からない。
- ◇ なんとなく
- ◇ 備蓄はないが困らない程度の状態ではあるから。
- ◇ 不足ではあると思うが、数日分の物資は常にある。また、物を増やしたくないと思う。
- ◇ 備蓄という程ではないが、ある程度の食料や飲料は常に置いてあるから。
- ◇ 川の氾濫や土砂崩れなどの心配がある程度ない所に暮らしているから
- ◇ 高台に転居したため、安心、油断している
- ◇ 何をどうすべきか把握していない

- ◇ 何をどの位備えればいいのか、明確に分からない
- ◇ あと伸ばしになっている
- ◇ 自宅が津波や水害、崖崩れなどの心配があまりないところにあり、自然災害が起きてもすぐに避難所に避難しなくていいから。
- ◇ なんとなくおっくうで。
- ◇ 備蓄品など、どこまで準備すれば良いか分からず、十分とは言えない
- ◇ 必要とは分かっているけど、なかなか機会がなく。
- ◇ ローリングストックはしている。
- ◇ 一度備えておいた物品等がそのままの状態になっており、お恥ずかしながら賞味期限などが切れてしまったままの状況です。
- ◇ 大丈夫だろうと思って
- ◇ 今を生きるだけで余裕がないから。
- ◇ 備えようとは思っているけど、そのままになっている
 - 備えたい物が多々あり、金額が高くなってしまい手を出せないでいる。
 - 手軽に備えられる物に対する情報が入ってこない。
- ◇ 住んでいる所は、水害に、ならないところなので
- ◇ 使用している物を少し多めに買う様にしている。災害にかかわらず、
- ◇ 何か困った時の為。
- ◇ 必要と思うが、大丈夫だろうとおもってしまうから
- ◇ 今すんでいる場所は比較的安全だから最低限の食料などしか準備していない
- ◇ やらうと思っはいるが後まわしになってしまっている
- ◇ 自宅が、比較的安全な場所にある為
- ◇ 食材の備蓄がない
- ◇ 自分の住む地域は大丈夫なのではという、安心から
- ◇ 期限切れだのなんだの
- ◇ 発電機もあれば良いと思うが高額なので簡単には買えない。
- ◇ ガソリンも必要だがストックしておけない。
- ◇ なにをどこくらい準備すれば良いのか分からない
- ◇ 1度備えて、期限切れの補充をしてない状態
- ◇ それぞれ必要な物は買い揃えてあるが、それをまとめきれてないところがある。
- ◇ 食料の備蓄が出来ていないが、金銭面の都合。
- ◇ 備えなきゃいけないのは分かっているのですが…
- ◇ なるべく…東日本大震災を思い出したくなく、逃げてるのだと思います。
- ◇ でも…あの時、車のガソリンには苦労したので、常に満タンにしておくようにしていました。
- ◇ どんな物をどの位用意したら良いかわからない。
- ◇ ついつい後回しになっている

- ◇ 避難場所等は決めているが簡易的な防災用品しか準備していない為、食品の備蓄量も少ない為。
- ◇ 近いうちに準備しようとは思っているが、後回しになっている
- ◇ 家族 7 人分の備えのイメージがつかない。
- ◇ 物はある程度あるが、まとめておいたり、計画的に使って購入したりがなかなかできていない。
- ◇ 気持ちばかりで、準備出来ていない。
- ◇ 面倒くさい
- ◇ 水や食料をどのくらい準備すれば良いか分からない
- ◇ 具体的にどのような備えが必要か分からない
- ◇ 大震災直後に揃えたものが期限切れになってから、補充しきれていない。
- ◇ その内やろうと思ってそのまま
- ◇ 早く準備した方が良いと思う。
- ◇ 津波などが来ないような所に住んでいるから
- ◇ 備えなければという意識はあるが、具体的に実行していることを考えた時、すぐに思い浮かばなかったから。
- ◇ 危機感が足りない
- ◇ 海や川からの被害はない場所に家があるため。山は崩れるかもしれないがどうもできないから。
- ◇ 危機感が薄い

設問 5 災害時の備えについて、不安に感じていることはありますか？

- ◇ 数日分×家族の人数分(我が家は 6 人)となると、不足するであろうという不安がある
- ◇ 家族で 一緒にいれるか 場所の確保など。
- ◇ 色々な災害があるが、家族皆、一緒とはかぎ
- ◇ 復旧に長時間かかると備蓄が足りないかも
- ◇ 長期化した場合の水や備蓄
- ◇ 準備をしていても実際持ち出せるか不安
- ◇ 長引いた場合、今の備蓄分で足りるのか？
- ◇ 何も備えをしていないのに
- ◇ 急に災害が起きたらどうしようと不安だ
- ◇ 家族がそれぞれ別の場所にいる時に発災した場合の安否確認方法
- ◇ ある
- ◇ 想定外が起きること
- ◇ ありません。
- ◇ なし
- ◇ どれだけ備えても、足りないのではと思う。

- ◇ 無し
- ◇ 仕事の都合で、すぐに迎えにいけないかもしれない
- ◇ どれくらい何が必要か。
- ◇ 災害の規模によっては備蓄品だけではまかえないこと
- ◇ 家に準備していても、災害時、どこにいるのか、備えを持ち出せるのか不安。
- ◇ ありません
- ◇ オール電化なので、停電時はどこまで対応できるか不安
- ◇ お金が手元に無いこと。車が使えなくなる事。携帯電話が使えなくなる事。
- ◇ どれだけ備えていれば良いのか不安です。
- ◇ 2、3日分なら、何とかなりそう。
- ◇ 11年前みたいに、長引いたら、どうしようもないかな、という不安はあります。
- ◇ 食料は3日分用意してあるが、足りるか心配である。
- ◇ 日中であれば家族の安否確認
- ◇ 長期化した場合の食糧の心配
- ◇ 食料品が十分確保出来ているか？
- ◇ 不安に思う
- ◇ 家族分の食料など不足しているので不安
- ◇ 震災を経験しているので、備えは完ぺきだと思う。
- ◇ 家族がバラバラな時間帯
- ◇ 備蓄などが充分かわからない。
- ◇ 親が食べれそうなやわらかい保存食の種類があまりない。
- ◇ 水は備えておけるけど、電気がまた長期間停止したら困る。でもソーラーパネルをつけるほど生活に余裕はない。
- ◇ 自宅が川に近いので食料などは準備しているが浸水することが不安
- ◇ 登下校中に災害があった時に携帯が繋がらなくなり家族と連絡がつかなくなる事
- ◇ オール電化なので 電気
- ◇ 数十分で実際どれくらい足りるか。
- ◇ 家族みんなが落ち着いて荷物を持ち出せるか。
- ◇ 約束している場所に集まれるか。
- ◇ 外出時の備え
- ◇ 食料品は消費期限があるので購入のタイミングが掴めない。家族数日分の備蓄となるとかなりの量になるので置き場所にも困る。
- ◇ もう少し色々な物を用意しておくべきかとは思っている
- ◇ その時に一番必要なものが用意されてるかどうか。
- ◇ 何をどの程度備えておく必要があるか、よく分からない。
- ◇ オール電化なので、停電になった場合不安がある。

- ◇ 物価が高く、日常の必需品を買うだけで家計は苦しい
- ◇ リュックなどにつめてはなかったので、そこいらをしっかりと用意したり置く場所などをきめる。
- ◇ どんな災害が来るか分からないので、何が必要になるのかよく分からない。
- ◇ 備えはあればあるほどよいので、いざとなると足りないと思う
- ◇ 何が起きるかわからないこの世の中で、様々な事を想定する難しさ
- ◇ 今ある備蓄で足りるかどうか
- ◇ 日中、夜間、季節により避難方法、持ち物にも変化があること
- ◇ 食料品や
- ◇ 単発の自然災害ではなく、長期的な災害(多種の重なる災害)の場合手に負えなくなる
- ◇ 家の擁壁が一部傾いている
- ◇ 携帯電話が繋がらないときの連絡手段
- ◇ 防寒対策が不十分だと感じている
- ◇ 最低限のものしか準備していないところに多少不安を感じている。
- ◇ 食糧。衣類。
- ◇ 震災の時は、水がいちばん困りました
- ◇ 多いに不安です。
- ◇ 上記に話した通りのこともあり得るし、現状、生活だけで一杯、一杯…なので、備えまで手が廻らずです。
- ◇ 重くて運べないのではないかと、など、うまくイメージできない点。
- ◇ 避難道路が狭隘
- ◇ 特になし
- ◇ 家族と一緒にいないときに災害が起きたときが不安
- ◇ 市内で別居している高齢の両親や、普段市内通所施設を利用している知的な発達に遅れのある長男(19歳)が一人での対応。
- ◇ 不安はないが、どの程度まで備えるべきなのか悩みます。
- ◇ 家にいる時はある程度備えられるので良いが、出先での災害時の時は不安
- ◇ 避難道路の把握が出来ていない事。
 - 水が出なくなった場合
- ◇ トイレが心配
- ◇ 食べ物や電気等
- ◇ 3.11に避難所で生活したわけでもないのに、もし以前より大きな災害にみまわれたときには実際どんなものが必要になるのか、テレビ新聞などの情報だけでは不安
- ◇ どうしても不足するものがある
- ◇ 年配者や体の不自由な家族の移動方法
- ◇ アウトドア用品が揃ってるので特別な不安はないです。
- ◇ 短期間分の備えなので、それ以上に長引いた時。

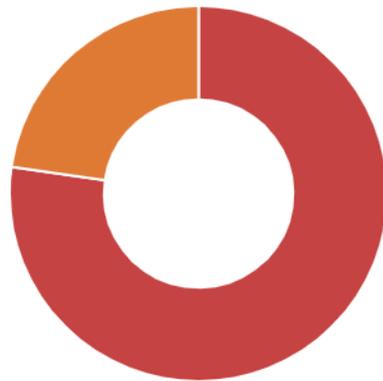
- ◇ 災害の状況によっては備えていても足りないかもしれないと思う。
- ◇ なし
- ◇ 風化してなくなる
- ◇ ライフラインが停まってしまうこと。
- ◇ 食品類。震災時は冷凍ストックでしのげたが、夏の災害や自宅が被災したときにまだ十分に常備していない
- ◇ 通学中子ども1人で徒歩の場合は
- ◇ 瞬時に身の安全を守る行動ができるか不安があります。
- ◇ 携帯電話の充電、小銭や少々の食べ物などは持ち歩かせたほうがいいのかなとも思います。
- ◇ 物流のストップが長期化することへの不安はある。
- ◇ ライフラインが停まってしまう事
- ◇ 高齢者の避難について
- ◇ 停電になるとあらゆる電化製品が使えなくなるので心配
- ◇ オール電化にしたため、電気が止まった時の備えが心配
- ◇ 家族が多いので、備蓄しているものでたりるかどうか。一般に言われている家族の人数✕〇〇という量はストックしておくのは難しい。
- ◇ 安否確認方法や発生時に家族が離れている時の対処方法がわからない
- ◇ 準備をしても、それで十分とは思えないこと。電気や水の備えが十分ではない。
- ◇ どれぐらいの水が必要とか
- ◇ 指定避難所が自宅のすぐ近くにあるため、心強くあるものの災害物資が届くまでどのぐらいの日数がかかるかわからないので、今の備蓄で十分かどうか不安である。
- ◇ また家や車がなくなったら嫌だなと思うこと
- ◇ たとえそこに備蓄しておいたとしても無意味だから
- ◇ 特にありません。
- ◇ 非常用持出袋が準備できていない
- ◇ 食料品はなんとかかなりそうだが、灯油など燃料系は保管の難しさから備えていない。長期で電気が使えない時の備えは準備できていないので少し不安。
- ◇ 何をどのくらい必要かよく分からない
- ◇ 外出中の家族との連絡。
- ◇ 冬季の災害の場合の燃料の確保。
- ◇ ペットのこと
- ◇ 自分達の現状を震災当時は情報が得られなかったので情報入手、食料、ガソリン、携帯充電方法等、何時どの程度の災害が来るかわからない事
- ◇ どこで被災するかわからない
- ◇ 家とは限らないからそれが不安
- ◇ いざとなると、焦ってしまい、機敏に持ち出して避難が出来るか、不安。

- ◇ どんな災害があるか、思いもよらないようなこともあるのでどんな備えがあっても安心とはならないと思う。
- ◇ 停電
- ◇ 気仙沼の生活に合う、備えセットみたいな物があると、準備しやすい。
 - 備えるものの優先順位の迷い。
 - 数(何をいくつ備えるか等)
- ◇ 断水になると、大変なので、水の貯えが、不安
- ◇ いざと言う時足りるか不安になります。
- ◇ 備蓄しているもので足りるのか心配
- ◇ 人数が多くなれば備えも多くしなければならぬ。備える場所もコストもかかるのが不安
- ◇ 地震
- ◇ どのくらい用意すれば万全か分からない
- ◇ 常備している量で足りるか
- ◇ 特になし
- ◇ 衛生面
- ◇ いつ、どこにいるかで対応が変わる事
- ◇ 災害が長引いた時に今の備えてる量ではすぐに足りなくなるのかなと考えた時に不安
- ◇ 家族の安否確認
- ◇ 特になし
- ◇ 特になし
- ◇ 水道が使えなくなる事が不安
- ◇ 水、食料などについて
- ◇ 2、3日間なら大丈夫だが、長期的な災害になると不安を感じる
- ◇ 災害規模に応じた対応が、どの程度必要か。
- ◇ 避難経路の確保が、可能か。
- ◇ 水道止まること
- ◇ 居住している所は避難区域になっている為問題ないが、車を避難できる駐車場がない。
- ◇ 食品 雑貨は備えられるが難しいものもある。
- ◇ 燃料 など。
- ◇ 何か準備しなくては・・・と思いつつできていない時に災害が起きたらどうしようかと心配に
- ◇ 実際災害があったときに、持って行けるか？どこまで持って行くか？
- ◇ 家族分のをそろえとなると、今の分で足りるかが不安。
- ◇ あまりない
- ◇ あの時になくて困ったもの、防災グッズは常に備えておけば良いのですが・・・用意しておくのもまた、不安なものです。
- ◇ 地震が頻発していたので不安はある。津波はもう来ないでと祈っている。

- ◇ 電気水道が止まるだけならどうにか一週間くらいは生きていけると思うが、家がやられた時はまたゼロからやり直しと思うと辛すぎる。
- ◇ 東日本大震災時、各家庭には十分な食料の配給がなく、自力で何とかした部分が大きかった。電気、水道、ガスも復旧するまでに1ヶ月以上かかり、毎日薪で火を起こす生活をしてきた。現在の備蓄で十分に間に合うかどうか、季節によって
- ◇ 対応できるか心配。
- ◇ あれもこれも…あった方がいいな。
- ◇ と、思うときりがない。
- ◇ 災害の程度によるとと思いますが、どの程度まで準備しておけば良いのか
- ◇ その後の生活の立て直し
- ◇ 物の蓄えも大事だが、災害時に家族の居場所がばらばらの場合、どこでどのように集合するかのパターンをいくつか把握しなければいけないと思っている。
- ◇ 短期間ならなんとかなるが、避難生活が長期になった場合が心配。
- ◇ 用意している間に古くなったりするのでは？と不安。
- ◇ 備えが出来てないので実際に災害が起きたら不安
- ◇ 避難所での生活など
- ◇ 特になし
- ◇ 特になし
- ◇ 定番の準備物の外にも、備えないといけない ペットの物とか
- ◇ あまり無い
- ◇ 特になし。
- ◇ 完璧な備えは不可能だと思うが…今の備えで実際に起きた時に対応出来るか不安。
- ◇ どんな災害が来るか分からないので何が必要なのかよく分からない。
- ◇ なし
- ◇ 今ある物で足りるのが少し不安。
- ◇ 特になし
- ◇ 停電になったとき

設問 6 ローリングストック(保存しながら、使用している食品・物品)しているものはありますか？

回答数 220



● 選択肢 1 170人(77.27%) ①ある
● 選択肢 2 50人(22.73%) ②ない

設問 7 設問 6 で①あると回答した人は、どのようなものをローリングストックしていますか？

- ◇ サランラップ、ティッシュ、オムツ
- ◇ パックのご飯、缶詰め
- ◇ 水分 カップラーメンなど。
- ◇ 缶詰、レトルト食品
- ◇ インスタント食品、賞味期限の長い食品
- ◇ 飲料水、菓子、ウェットタオル、消毒液、歯みがき粉等
- ◇ 缶詰め
- ◇ 乾燥麺
- ◇ 缶詰、カップ麺、水など
- ◇ 缶詰、賞味期限の長い菓子類(クラッカー等)、水(ペットボトル)、お茶(ペットボトル)
- ◇ 缶詰め
- ◇ レトルトカレー、インスタントラーメン、ホットケーキミックス。ツナ缶、スパム等の缶詰。
- ◇ 水、かんぱん
- ◇ 缶詰やカップラーメンなど。
- ◇ 水は箱で買っていて、消費期限がきれそうな物から飲んでいる。
- ◇ 切り餅、カップラーメン、ティッシュ

- ◇ トイレtpーパー、洗剤類、レトルト食品
- ◇ 缶詰、乾麺、水
- ◇ 水
- ◇ 水
- ◇ ご飯。飲み物
- ◇ 水 レトルト食品
- ◇ レトルト食品
- ◇ 缶詰め
- ◇ 水 など
- ◇ 水、食料
- ◇ 子供の補食を兼ねて、インゼリー。カロリーメイト。アクエリアス。
- ◇ お菓子。カップ麺。乾麺。
- ◇ 生理用品、新品下着が震災時お役に立てた。
- ◇ レトルト食品、カップ麺等
- ◇ ご飯、缶詰、乾うどん、蕎麦など
- ◇ 缶詰、電池、水、他
- ◇ 水
- ◇ 食料品、飲料水
- ◇ 缶詰め、飲み物
- ◇ 水、乾パンなど
- ◇ ティッシュペーパー
- ◇ 水
- ◇ 乾麺
- ◇ 飲料水、缶詰、パスタ、乾麺
- ◇ 保存期間の長い菓子類
- ◇ 乾電池
- ◇ 水、トイレtpーパー、消毒、ラップ、アルファーマ、
- ◇ 缶詰など
- ◇ レンジで温めるご飯、レトルトカレー、魚の缶詰、乾パン、カロリーメイト、他。
- ◇ 水やカップ麺
- ◇ レトルトカレー、カップ麺、パックご飯、冷凍食品等
- ◇ カップ麺、缶詰、レトルト食品
- ◇ よく分からないが。
- ◇ レトルト食品
- ◇ 飲料水
- ◇ 缶詰とか？

- ◇ 冷凍干物、乾物系？
- ◇ 缶詰め 乾麺類
- ◇ 乾麺、缶詰
- ◇ 水、乾パン
- ◇ 水・缶詰め等
- ◇ カップラーメン
- ◇ 缶詰
- ◇ 菓子など
- ◇ 飲料水
- ◇ 缶詰やレトルト食品
- ◇ 食べなれたお菓子
- ◇ 飲料水
- ◇ レトルト食品や、缶詰め
- ◇ 米、トイレットペーパー、
- ◇ トイレットペーパー、食料、水
- ◇ カップラーメン
- ◇ お菓子
- ◇ 調味料や日用品。
- ◇ 水、アルファ米、缶詰
- ◇ 水、日持ちのする食料
- ◇ 電池
- ◇ 生活雑貨等
- ◇ 水、缶詰、乾電池
- ◇ 乾麺
- ◇ 缶詰等
- ◇ ペットボトルのミズノ
- ◇ 即席麺
- ◇ 米・塩・油・乾物・・・
- ◇ レトルト食品、缶詰、
- ◇ トマト水煮缶、乾物食品、ツナ缶
- ◇ 水、缶詰、レトルト食品、ペーパー類
- ◇ トイレットペーパー
- ◇ 水
- ◇ レトルト食品
- ◇ 缶詰
- ◇ レトルト系、缶パン系。

- ◇ お湯を入れるだけで出来るご飯。
- ◇ 乾パン
- ◇ 余ったご飯は冷凍して保存。
- ◇ 飲料水。インスタント食品。
- ◇ レトルト食品など
- ◇ ペットボトルのお茶、カロリーメイト、ゼリーなど
- ◇ 水で戻すご飯、長期保存できるクラッカー 水 等
- ◇ 水、缶パン等の賞味期限をきにしている。
- ◇ 水
- ◇ 缶詰等の食料品。
- ◇ 乾物
- ◇ 缶詰
- ◇ レトルト食品
- ◇ 飲料水
- ◇ ティッシュやトイレなどの生活用品
- ◇ ウィダーインゼリー
- ◇ ペットボトルの飲みもの
- ◇ 切り餅
- ◇ 缶詰など
- ◇ 水、ご飯、缶詰、カロリーメイト、レトルト食品
- ◇ ホッカイロ、乾電池、
- ◇ ビスケット、コーンフレーク
- ◇ (食品)米、みそ、醤油、梅干し、海苔、など
- ◇ (物品)発電機、カセットコンロ、
- ◇ 電灯、電池、ガソリン
- ◇ カップラーメン、マスク、ウェットティッシュ、歯ブラシ
- ◇ 米、カップ麺
- ◇ 水、トイレトペーパー
- ◇ テッシュと、即席麺
- ◇ 水、缶詰め、乾物、乾電池、トイレトペーパー、衛生用品等、
- ◇ 水などの飲み物
- ◇ 乾麺 米
- ◇ レトルト食品
- ◇ ガスボンベ
- ◇ お菓子
- ◇ ボックスティッシュ

- ◇ トイレtp>紙
- ◇ 衛生用品 等
- ◇ インスタントのもの
- ◇ 缶詰
- ◇ 水
- ◇ 保存の効く食料。カップ麺、缶詰、パックごはん、水など。
- ◇ 日用品などは多めにストックしておく。ティッシュ、トイレtp>紙など。
- ◇ 水、レトルト食品
- ◇ トイレtp>紙、ティッシュなど
- ◇ パックのご飯、レトルト食品、缶詰など。
- ◇ 真空パックご飯
- ◇ 長期保存野菜ジュース
- ◇ 水
- ◇ 水、クッキー
- ◇ 米、水、乾電池、食料品等。
- ◇ 缶詰、調味料、乾物等
- ◇ 食料 飲料
- ◇ オール電化なので災害時にストーブなど暖をとったり調理できるよう、灯油は用意しています。
- ◇ 缶詰・レトルト食品・飲料水
- ◇ 食料と飲料
- ◇ 水、インスタントラーメン
- ◇ 乾麺、缶詰、飲み物、水、カップラーメン、レトルト食品(非加熱)
- ◇ 缶詰、レトルトご飯、カップラーメン
- ◇ アルファ米や缶入り食品
- ◇ 乾電池
- ◇ トイレtp>紙
- ◇ BOX ティッシュ
- ◇ ミネラルウォーター
- ◇ 缶詰及び飲料水
- ◇ 水
- ◇ 保存用の食品
- ◇ カップラーメン、レトルト食品、缶詰め、乾電池、水
- ◇ パスタやそばなどの乾麺
- ◇ カップラーメンや冷凍食品などのインスタント食品
- ◇ 缶詰
- ◇ 水

- ◇ ティッシュペーパー
- ◇ トイレtpペーパー
- ◇ 水、缶詰、米、乾物類など
- ◇ 水
- ◇ パスタ・パスタソース、乾物や乾麺、缶詰類、カップ麺、水など
- ◇ 保存の効く食料。カップ麺、缶詰、パックごはん、水など。
- ◇ 日用品などは多めにストックしておく。ティッシュ、トイレtpペーパーなど。
- ◇ 飲料水、インスタント食品(レトルト食品、カップ麺、他)
- ◇ 乾麺
- ◇ 水
- ◇ ちやおちゆる
- ◇ 缶詰、レトルト食品
- ◇ 乾麺や缶詰
- ◇ 缶詰 飲料
- ◇ カップ麺、缶詰
- ◇ 水、麦茶、スポーツドリンク
- ◇ カロリーメイト、ゼリー
- ◇ 水、レトルト食品、パックご飯。チョコレート。
- ◇ 電池
- ◇ フリーズドライ食品
- ◇ レトルト食品
- ◇ カップラーメン等
- ◇ 飲み水
 - 2L ペットボトル飲料水
- ◇ 乾麺、インスタントラーメン
- ◇ 即席麺や長期保存出来るパン、ペットボトルのお茶やお菓子等です。
- ◇ 水
- ◇ 缶詰 パウチ食品 乾麺 とかしてすぐ食べれる冷凍食品
- ◇ レトルト食品
- ◇ ティッシュ
- ◇ 生理用品
- ◇ 食品、インスタントの物
- ◇ カップラーメン
- ◇ カロリーメイト
- ◇ ゼリー飲料
- ◇ 飲み物

- ◇ レトルト食品
- ◇ 飲料など
- ◇ ろうそく、マッチ、水…パン
- ◇ 水
- ◇ カップラーメン、乾麺、缶詰め、飲み物など
- ◇ レトルト食品、カップ麺など
- ◇ 水、缶詰め
- ◇ 水、カップ麺
- ◇ 水で戻せるご飯や、お茶などの買い置き。
- ◇ 乾麺 缶詰 ホットケーキミックス
- ◇ パスタ インスタントスープ
- ◇ 米、缶詰、調味料
- ◇ 水、缶詰、レトルト食品、冷凍食品
- ◇ 水、食料
- ◇ 飲料水
- ◇ ごはん
- ◇ 冷凍食品
- ◇ カップラーメン
- ◇ トイレtpペーパー
- ◇ レトルト食品 ペットボトル飲料 インスタント食品
- ◇ 保存ラップ トイレtpペーパー ティッシュ 電池
- ◇ 歯ブラシ ウェットティッシュ
- ◇ 缶パン
- ◇ 缶詰、レトルト食品
- ◇ 缶詰やレトルトなど。
- ◇ 調理済み食品をお弁当用に冷凍している。
- ◇ 缶詰、米、パスタなど。
- ◇ 水、食料、電池、カイロ、生理用品などの消耗品
- ◇ 缶詰、飲料水、お米等
- ◇ 水、カップ麺、お菓子
- ◇ ツナなどの缶詰め
- ◇ レトルト食品
- ◇ 食料水
- ◇ 長期保存できる菓子、パン
- ◇ 缶詰め
- ◇ 水

- ◇ 水
- ◇ 缶詰
- ◇ ペットボトルの水
- ◇ 水、長期保存食
- ◇ 缶詰
- ◇ 乾麺
- ◇ レトルト食品、カップ麺、水、カセットコンロ、トイレトペーパー
- ◇ 飲料水や乾パンなど
- ◇ 缶詰めやカップ麺など、賞味期限が近いものから、消費して新たに補充する。
- ◇ 塩、砂糖、味噌、小麦粉、乾麺(パスタ、うどん、そうめん)、レトルト食品、缶詰、ラップ、カセットボンベ、トイレトペーパー、ティッシュペーパー
- ◇ インスタントラーメン、水
- ◇ 調味料や日用品。
- ◇ 非常食や水、お菓子等半年位でローリングストックしている。
- ◇ かんぱん
- ◇ 水
- ◇ 缶詰め

設問 8 地元ならではの伝えたい保存食品、実際に地元の食材で保存している食材があれば紹介してください

- ◇ 特になし
- ◇ ない
- ◇ 特になし
- ◇ ツナ缶、乾物(やきのり等)、塩蔵わかめ等。
- ◇ なし
- ◇ 特になし。
- ◇ 庭でどれだけ梅を漬けて、梅干している。きゅうりの漬物は冷凍している。
- ◇ 特に無し
- ◇ 無し
- ◇ さば缶。つな缶。
- ◇ 米
- ◇ 特にないです。
- ◇ 地元のミヤカンの缶詰を備えています。
- ◇ サンマの缶詰
- ◇ 缶詰め
- ◇ なし

- ◇ わからない。
- ◇ 乾燥海藻とか？でしょうか
- ◇ 特にない
- ◇ 時期になると沢山頂くカツオは味を付けて火を通して冷凍。タケノコを煮付けて冷凍。
- ◇ 缶詰
- ◇ なし
- ◇ 特になし
- ◇ 海産物
- ◇ なし。
- ◇ 魚の缶詰
- ◇ 特になし
- ◇ なし
- ◇ ふかひれスープ
- ◇ なし
- ◇ なし
- ◇ ない

- ◇ わかりません
- ◇ (漬物)梅干し、たくあん、白菜漬、らっきょう、など季節のもの
- ◇ (冷凍)さんま佃煮、佃煮系、あざら

➤ 常にはこんなにはありませんが。

- ◇ 缶詰、フカヒレスープ
- ◇ サバ缶、フカヒレスープ、えんぞうわかめ
- ◇ なし
- ◇ 梅干し
- ◇ ワカメ、
- ◇ 特に無し
- ◇ ほていのツナ缶
- ◇ ほていのふかひれスープ
- ◇ 横田屋の朝めしのり
- ◇ わかりません。
- ◇ 魚介の缶詰など
- ◇ ツナ缶
- ◇ 特になし
- ◇ 梅干し

- ◇ 乾物(切り干し大根 ひじきなど)
- ◇ 梅干し
- ◇ ウニみそ。
- ◇ 梅干し。
- ◇ 海藻乾物等
- ◇ 特にない
- ◇ 無いです。
- ◇ 海草類(ひじき マツモ ふのり等)
- ◇ 特になし
- ◇ 梅干し、米
- ◇ なし
- ◇ 特に無し。
- ◇ ゆべしは伊達政宗のころからある保存食 戦いに持って行ったそうです
- ◇ なし
- ◇ さんまの缶詰め
- ◇ 特にありません。
- ◇ フカヒレスープやみそ汁
- ◇ そんなのがあれば教えてほしい。
- ◇ 缶詰め、乾燥した海藻類
- ◇ 特になし
- ◇ なし
- ◇ 山菜の塩漬け
- ◇ 塩わかめ
- ◇ 無い
- ◇ 特になし。
- ◇ なし

設問 9 震災を経験した大人から、子どもたちに伝えたい防災の知恵・備えがあれば、お願いします。(備えていてよかったこと・備えておけばよかったこと、思うことなど)

- ◇ すぐ避難する。決して自宅などに戻ってはいけない。
- ◇ 何よりも とにかく逃げる。
- ◇ 毎日飲む薬はいくらか常に持っておいたほうが良いと感じた。
- ◇ ビニール袋、ラップ、歯ブラシ、カイロ、生理用品、スリッパ、ウェットティッシュ、防寒シート、カイロ、小銭
- ◇ 日頃の心の準備も必要！

- ◇ 避難場所の確認
- ◇ 自己判断せずに必ず命を守る行動(避難)をすることの徹底
- ◇ 物はいらない、命あれば
- ◇ とにかく、避難。命さえあれば、なんとかなる。備えは、やらないよりはやった方がいいが、震災の時は大事な物を取りに行き行って被災した人も多かったのも事実です。
- ◇ (避難するという意味では)貴重品、大事なものは、普段から一つのカバンに常に入れておくのがよいかと。
- ◇ 電気がなかったので、こたつやヒーターが使えなかった。家には練炭があったので、こたつの中に入れて皆で暖をとっていた。
- ◇ 停電中に、灯油のストーブ(上にやかんを置いたりできるもの)が大活躍しました。
- ◇ 一番下の子どもが小さかったので、紙オムツを多めに買って置いて良かったと思いました。
- ◇ 避難先を共有すること
- ◇ 買物に行けなくても数日間過ごせるだけの備蓄をすること。手回しラジオなど、電池や電気がなくても利用できるものをそろえておく。
- ◇ つなみてんでんこの後の集合場所、確認について。
- ◇ 電池
- ◇ ろうそく
- ◇ ホッカイロ
- ◇ カセットコンロ + カセット用ガス
- ◇ 水
- ◇ レトルト食品
- ◇ 缶詰め など
- ◇ SNS で繋がっている事。発信できるチカラ。自宅の場所を知ってもらっている事(震災時は皆さん直接行動し訪ねて来てくれた)
- ◇ 電池、ローソク、発電機等電気になるもの。ガソリン。プロパンガス、炭等
- ◇ 炊飯器が使えないので、火で米を炊くということなど、昔の生活を知っていると、役に立ったかなあ、と思います。
- ◇ 月並みですが、食料、水の他に、ラジオ、電池、照明、ラップ、コンタクトレンズ、眼鏡です。
- ◇ 電池、ティッシュ、ライターなど自分で作れない物の備蓄は大切。
- ◇ 自分の身を守ることが一番。
- ◇ また昭和前半に生まれた先生から『自然災害があった場合は天気も大きく変わることもあるので、余裕があれば、体温の低下等を防ぐために、防寒着を持って、逃げる』ようにと、教えられていました。実際、東日本大震災の時も地震の後雪が降り、悪天候となりました。
- ◇ ゴミ袋大、中など多めに備蓄することで、防寒用にかぶったり、腰に巻いたり、靴の中に履いて濡れるのを防いだり、給水用に袋になったりと便利です。
- ◇ ガソリンは半分になったら満タンにしておく

- ◇ 非常用食品を備えておけば良かった
- ◇ 懐中電灯などの備え
- ◇ 防災リュック
- ◇ マスクや絆創膏などの救急セット
- ◇ 震災の当日、ガソリンが少なくなっていたため、夜に入れようと思っていたが震災になり、ガソリンを入れられるようになるまで日数がかかったため。
- ◇ ロウソク、反射式ストーブ
- ◇ 当たり前のことだけれど大きな地震がきたら高台に逃げること！三陸沖津波の話は聞いたことがあったが、実際、東日本大震災を経験してみて、地震口津波の認識の薄さを痛感したから。
- ◇ 大きなゴミ袋は、穴を開けて上からかぶれば寒さをしのげる。
- ◇ ラップは、食器に巻いて使うと洗わなくてすむ。
- ◇ そもそも、何も備えもない生活の中で急に起きた震災だった、備えておけばよかったと、一番におもったのはガソリン
- ◇ 食材などは後に支援物資で頂けたのでありがたかった
- ◇ 今後伝えたい事は、食の心配より、その地を知ることでしょうか
- ◇ 震災がどこにいるときに起こるか分からないということ
- ◇ 逃げ道を知っておくこと
- ◇ だと思います
- ◇ 十分過ぎるほどの備え 物も気持ちも
- ◇ 危機管理能力大切 臨機応変な対応
- ◇ 乾電池の備蓄
- ◇ アイスボックス、発泡スチロールに冷凍物を入れ冷蔵庫代わり。
- ◇ ベット用オシッコシートが、簡易トイレや防水シート代わりに。
- ◇ 皿にサランラップや、ホイルを敷き洗い物減らし水の節約。
- ◇ スマホの充電。車のガソリン。普段持ち歩くカバンには常にちょっとしたおやつを。
- ◇ 避難経路や避難所などの確認
- ◇ 発電機は充電するのにあって良かった
- ◇ 大丈夫は絶対でない。
- ◇ 反射式石油ストーブ、灯油、電池式のラジオやライトは電気が止まっても使用できて助かりました。
- ◇ 固定電話も通話できます。
- ◇ 車のガソリンも常にある程度入れておく必要があります。
- ◇ どんな事があってもなんとかなる
- ◇ お鍋でこぼんを炊いてみて、
- ◇ カセットコンロやストーブ、灯油など電気がなくてもつかえるものがあるなら災害時便利。

- ◇ カセットコンロがあるとお湯が沸かせたり、簡単な調理ができる。
- ◇ 車のガソリンは余裕をもって入れておく。
- ◇ 避難場所、経路を家族で話し合っておくこと、
- ◇ 高台に迷わず逃げる!!
- ◇ 人から聞いて鼻で笑うような信じられない大袈裟的な話に対してイメージ対策をするだけでも生き残れる・・・かも
- ◇ ガソリンやガス等は常に満タンにしておく
- ◇ 震災時、自宅では水とガスが使えたので、全く使用できなかった方からみれば、随分助けられたと思う。衛生面から、マスクやトイレトペーパー、ティッシュペーパーなどは、予備があったほうが良いと思う。食品では、不意に食べたくなる甘いものが保存できていると良いと思う。
- ◇ 水
- ◇ ラジオ
- ◇ 発電機
- ◇ お菓子
- ◇ 常備薬
- ◇ 何にも無くなったので、特に言えることは無し。
- ◇ 避難訓練は大切。避難場所はきちんと確認しておく。
- ◇ 子供が生まれた時、電気が止まった時のことを考え暖を取るためにと、石油ストーブを買って置いた。そして震災。そのストーブでお湯を沸かしたり、煮炊きすることができた。
- ◇ とにかく安全な場所に避難すること。
- ◇ 古新聞や古着など雑用にしてもいいので捨てずにとってても何かしらに使える。
- ◇ 避難場所を事前に決め共有
- ◇ 「てんでんこ」の避難
- ◇ 平日頃から地域の人と交流して名前や顔をお互い覚えておくと良いと思う
- ◇ 家族だけでなく地域や学校等でみんなで助け合いをして乗り越えることが必要です。
- ◇ ガソリンは半分以下にしない。
- ◇ 水の大切さ
- ◇ 持ち出し袋の常備。何度も押し寄せる津波被害を考えた時、まず高台への避難と安全確保、そして決して家に戻らないこと(命を落とした人を目の当たりにしたので)。
- ◇ とにかく避難さえできればどうにかかります。食べ物や生活用品も困ることはあっても、命までは奪いません。
- ◇ それらを踏まえたうえで、実際にはコンタクトレンズ、生理用品、おむつ、薬などを備えておらず苦労しました。
- ◇ 今では、車にも職場にも防災バックとしてそれらを備えています。
- ◇ 非常用袋を寝室に備えていたが、震災時は出先からの避難だったため、持ち出すことが出来ず。自家用車にも非常用袋を備えておけば良かったのかなあ

- ◇ と思った。
- ◇ 三日分の食料の備蓄、
- ◇ 鞆に、いつも多少の薬
- ◇ 水がないのには大変困りました。当時下の子がお腹をこわし心配しました。不衛生だったの
でしょう。
- ◇ 水、アルコール消毒液があれば、良かったです。
- ◇ 震災の時は自宅で過ごしたので、ご近所同士の物のやり取りや情報交換等をできたことがと
ても助かったし心強かった。
- ◇ 除菌のウエットティッシュ
- ◇ 簡易トイレ
- ◇ 季節によって日持ちはしないけど冷凍しておいた食品類、レトルト食品
- ◇ 化粧水、薬
- ◇ どこにいてもどこに向かって逃げればよいのか自分で判断する力
- ◇ 震災は忘れた頃にやってくる
- ◇ 釜石の奇跡
- ◇ 大川小の悲劇
- ◇ ガスコンロ、懐中電灯、水は必需品！
- ◇ 震災の時は寒かったので、ストーブが助かりました。やかんでお湯を、わかしてペットボトルを
湯たんぽにしたり、寒さをしのぐ事が出来ました。
- ◇ 祖母からお風呂のお湯は必ず入れておきない。何かの時は使えるからと子供の時から言わ
れていたの、いつもお湯は残していました。それでしばらく身体を拭いたり、洗濯したりでき
ました。
- ◇ マニュアル通りなら安全とは限らないので、状況を見極めて臨機応変に対応する力をつけて
ほしい。
- ◇ 備えておくと良いもの
- ◇ 歯ブラシなど口腔ケア用品
- ◇ 体 拭きや水のいらぬシャンプーなど
- ◇ なし
- ◇ 渋滞でしぬ。10年に一度はかならずあるで備える。
- ◇ 持ち出し用の衣服、備品を決めていた
- ◇ 忘れ物等があっても避難した場所に戻ったりはしないで欲しい。
- ◇ 地図上で避難場所をいくら頭に入れても平面図ではなかなか高低差は実感しにくいので、普
段から徒歩で気仙沼地域の土地勘を感じていたほうがいいのかと思います。
- ◇ 震災時、身内や知人から、布団等の提供がありました。身一つでしたのでありがたかったで
す。親戚付き合いは大切だと感じました。
- ◇ 避難した後に戻らないこと。

- ◇ 水は賞味期限が切れても使い水(洗濯、トイレ用)にできるので、保管しておくといいと思います。
- ◇ いざというときの避難方法のシュミレーションを時々家族で話し合っておくと安心だと思います。
- ◇ おしりふき(お風呂に入れなかった)、ナプキン(精神的に不安定になる人がいた)
- ◇ 水、食べ物、電池、懐中電灯、ラジオ、車にはガソリン満タン、
- ◇ 命が一番大事
- ◇ 乾電池は使ってなくても消耗するのでローリングストックを。
- ◇ 電灯などに乾電池入れてしまっておくとサビで使えなくなったりするので別々に保管すること。
- ◇ とにかく避難優先にすること
- ◇ 発電機、携帯用コンロ
- ◇ 充電式電池
- ◇ 寒い時期だったので、石油ストーブは重宝しました。電気を使わずにお米を炊くことを覚えておくといいかも。それから、懐中電灯は必須です。
- ◇ 震災時、自宅に備えて置いた防災グッズは、途中で自宅に戻れませんでしたし、一切役にたちませんでした。
- ◇ それなら車に少しでも…と思い、積んであります。
- ◇ 自分の命は自分で守る意識を普段から高めていられると、いざと云うとき安心ですね。
- ◇ 人に頼らず自分の身は自分で守るという意識を持つことが大切。
- ◇ 例えば、強い地震が起きたときに、これから自分の身を守るために何をすべきかを全力で考えとか。
- ◇ 避難場所や家族と落ち合う場所を確認しておくこと。
- ◇ 通学途中に地震などがあった場合どうするかをシュミレーションしておくこと。
- ◇ 食料品などの備えは大切だが、いつどこで被災するかわからない。自分の命を守ること優先で動く心の準備と家族での決め事が必要だとおもう。
- ◇ 持ち歩くバックに飴、ビニール袋、使い捨てカイロなど。
- ◇ 災害時にすぐ使いたいタオル類は、箱のままとっておかず、使えるように洗ってしまっておく
- ◇ たくさんありすぎて何から話せばいいのやら…
- ◇ 車では行けない、逃げ道を知る。日頃から大人と地元の散策をする。
- ◇ タンス預金は絶対にしない方がいい！
- ◇ なぜなら、通帳は再発行出来たけど、現金は流されたり燃えたりして無くしてしまったから。
- ◇ マスク、生理用品。
- ◇ 持ち出し袋に必要。
- ◇ いつどこで自分が災害に遭うかわからないと常に考えておかななくてはならないと思う。どこにいてもその土地の特徴を知っておく。
- ◇ とにかく自身の安全を守れる場所に避難すること、命を第1と考えること。物の備えもですが、

心構えをしておく備えも必要と思います。

- ◇ 特に無し
- ◇ 震災前から断水時にトイレの水のために、お風呂の水は抜かないでそのままにしている。
- ◇ そのことを大阪の友達に話してたので、大阪の地震の時に役に立ったと、友達に言われた。
- ◇ 備えも大事だが、まずは自分の身を守る術を伝えたい。
- ◇ 保存がきく、乾麺、缶詰、ストックしておくといいと思う
- ◇ 震災の時、断水になる前にお風呂にためた水がとても役に立ちました。
- ◇ 短時間の断水や台風等の時も過信せず水をためておくと思いいます。
- ◇ 食品は炊き出しなどでなんとかなるが、子どものオムツ、ティッシュ、ラップ、生理用品、カセットガスボンベは多めに日頃からストックしててもいいと思います。腐るわけではないので…
- ◇ 水
- ◇ 食料は備えがあれば助かる
- ◇ 生理用品(盗まれた)
- ◇ 自然災害に絶対大丈夫はない
- ◇ 人の援助のありがたさを感じた
- ◇ コロナ等感染症もあるのでマスクやアルコール消毒、ボディシートなど
- ◇ 命を守れ
- ◇ イメージトレーニングを忘れないこと
- ◇ 備えていてもいつもその場にいるとは限りません。
- ◇ いつ起きても大丈夫なように、普段から飴とか少しでも持ち歩くと良いかもしれません。
- ◇ ウエットティッシュ
- ◇ 避難時、リュックなどの鞆の方が良い
- ◇ 食料の備蓄、家具などの固定などしておく
- ◇ 大袈裟なくらいでよいから、自分の身を守る。ガソリンを常に半分以上入れておく。
- ◇ 避難路の確保
- ◇ ペットボトルの水は大事。
- ◇ 甘いものがあって 子供たちは元気になりました
- ◇ チョコレート キャラメル ホットケーキ チョコ味のシリアル 羊羹など
- ◇ 住んでいる場所によって違いがあるので
- ◇ 自分が居る場所と似ている場所の被災経験のある人の話を聞いて参考にしたほうが良い。
- ◇ とにかくこのくらいと思わず逃げること
- ◇ 停電時にはラジオで情報収集する為、
- ◇ 乾電池、ろうそくを備えていた。
- ◇ 反射式ストーブと灯油のストックがあった事で暖を取る事ができ、お湯を沸かす事が出来た。
- ◇ ガソリンを常に給油しておく事。
- ◇ 給油に制限があり、利用できるガソリンスタンドが一店舗のみで、とても苦労した。

- ◇ ガソリンの節約の為、自転車での移動が便利だった。
- ◇ 携帯電話の充電器も必要。
- ◇ ウェットティッシュは何にでも使えてとても便利でした。
- ◇ 特になし
- ◇ 一番は何かを取りに戻らないで、身の安全を確保すること。とりあえず長靴は車やロッカーに置いてます。
- ◇ 普段から食品のストックを多めに置いてたから、震災の時助かった。水が出なくて茶碗など洗えないので、皿にラップを敷くなど ラップやキッチンペーパーも多くあると良い。
- ◇ 一番は水です。いくらあっても足りなくなる。
- ◇ 伝えなきゃいけないことも多々あるのですが…
- ◇ 同じ服を何日も着て、顔も洗えず…歯も磨けず…トイレをすることさえ、大変で…水の確保は自衛隊の給水車の他に井戸の水を汲み、1日、1日を生きるのに必死でした。
- ◇ 生き残ったことに苦しみ、途方に暮れたことも…
- ◇ 月日が解決？どん底を味わったから…あとは、上に上がるだけ…。
- ◇ 生きていれば…後は国や沢山の人達に救われるはず。
- ◇ 何よりも命を守る！自分の身は自分で守れるように！何かあったら、安全な場所に避難。決して、躊躇しないこと。
- ◇ 震災なんかもう経験してほしく無いが、もしものために常に家族は連絡取れるようにしておいて。いつも仲良く。助け合えるのは家族、そして親戚です。被災地から離れた友達にも助けられました。ちゃんと恩返しを忘れずに。
- ◇ スキーウェア等の防寒着上下、カセットコンロ、ペットボトル(水の他に、お湯を入れて湯タンポ代わりに使用)、石油ストーブ、紙オムツ、生理用品
- ◇ 停電でIH コンロが使えず、カセットコンロがあって助かった。
- ◇ 車のガソリンはギリギリになる前、余裕をもって給油する
- ◇ ろうそく、石油ストーブが家にあり
- ◇ 電気が使えない時にとても便利でした。ストーブで調理もしました。
- ◇ 設問5と同じ
- ◇ 非常時でも、あるものやできることで工夫すれば、なんとかなることが分かりました。停電でも、冷蔵庫が被災して倒れていても、あまり開けないようにすれば中の物は意外と長持ちします。反射式ストーブで簡単な調理ができるし、山水は洗濯もできるし沸かせば飲むこともできます。
- ◇ 一番ありがたかったのは、地域のつながりです。家族の状況などが分かっているので、たくさん助けていただきました。平常時から、訓練はもちろん、行事などを通して交流していると、いざというときに支え合えると思います。
- ◇ 特になし
- ◇ 非常食の確保や停電になると全ての家電が使用出来ないなのでガス缶で使えるストーブや卓上コンロが必要だと思いました

- ◇ 1週間は自助で生活できる備えを持って欲しい。
- ◇ 反射板のストーブが色々使えた。お湯を沸かしたり、ご飯を炊いたりとても助かった。
- ◇ 訓練や防災マニュアルをしっかり憶えつつも、いざというときには、それに捉われすぎずに、状況に応じた判断や直感で行動することも大切だと思います。
- ◇ とにかく素早く避難する。
- ◇ 地震が来たら海や川などに行かない事。
- ◇ 避難場所や連絡手段。
- ◇ 水は大事！
- ◇ 飲料水以外にもポリタンクに水を溜めておく
- ◇ 日持ちする食品、ラジオ、懐中電灯、水、
- ◇ 1番は身を守る事。
- ◇ お風呂に水を溜めておく事
- ◇ 早めの避難準備